

ガーナでそろばんプロジェクト98 号(2022年1月31日)

★★ 卒業生が通えるそろばん教室ってありだな。そう思った日 ★★

コロナによりガーナ全土の学校がほぼ一年休校となり、再開となったのが去年2021年1月の事です。学校が再開してから、そろばんは授業で取り入れることをしてきました。「そろばん教室を再開したい」この想いはずっと抱き続けていました。コロナ前にそろばん教室に通っていた生徒からも、また授業でそろばんを学び、そろばんをもっとやりたいと感じた生徒からもそろばん教室を希望する声はあがってきました。そろばん教室再開の決断はなかなか下せずにいました。今から約3か月前の事です。授業を終えて帰ろうとした時、学校のゲートを出たところにバイクが止まっていました。モトバイと呼ばれるバイクタクシーだと思い、歩いて5分ほどの大通りまでお願いしました。ライダーの後ろに乗り走り始めた時です。「トシコ、そろばんクラス……」とライダーが言うのです。そろばんクラスと言うからには、そろばんの事を知っている村人。「あなた誰？」そう尋ねると「パトリック」と応えました。思い返せば、学校再開になり授業でそろばんを始めた時に、コンスタンスとパトリック兄弟に連れられて来ていた幼弟アントニーが「トシコ、そろばんクラスにコンスタンスとパトリックが来た……」と言っていたのです。学校を卒業してもそろばんを学びたいという想いにとてもうれしくなりました。時として、このそろばんを少しばかりそろばん教室で学び、少しばかりクラスで成績が良いだけで「わたしはすごい出来るんだ」と思い違いをしている生徒を見る度に「そろばんをほんの少し学び、たし算引き算が他のクラスメイトより出来ただけでは「わたしはすごい出来るんだ」とは言わないんだよ。それに「そろばん教室に来ているからと言って特別な生徒では

ないんだよ」とどれだけ思い違いをしまっている生徒に言いかけたことでしょうか。パトリックは、高校受験前まで通い続け、その当時でも九九は覚えた。徒歩5分の距離だとバイクだと直ぐに大通りに着きます。村のモトバイの大半はヘルメットは被らずサンダル履きのライダーが多く、中には「ヤブウ」外国人だから料金は倍だ。」と言ってくるようなライダーもいます。パトリックに相場の料金を渡そうとしたら「要らない。トシコ、そろばんクラス……」はにかなり言いました。再会した十一月は高校入試という事もあり全寮制の高校に入っているパトリックは期間だけ村に戻って来ていたのか？高校は卒業して村に戻り何か仕事に就いたのか？確認はしませんでした。しかし、きちんと身なりと整えた姿から彼の真面目な生活ぶりが伝わってきました。そろばん教室を再開したとして、パトリックが来るとは限らないけれども、学校を卒業してもそろばん教室は通える場所でも良いな。その場所を提供したいなと感じました。そろばん教室完全再開にまだに決断が下せないでいますが、少しずつ扉を開いていきたいと思えます。



アントニーは新年度より6年生になりました。パトリックは当時の面影がありませんでしたが、無理やり笑顔にさせたものの彼の真面目さが十分に伝わってきました。パトリックは弟のコンスタンスに誘われて通い始めました。真面目な三兄弟の今後のそろばんとの向き合い方も楽しみにになりました。

報告 TOSHIKO

協賛



トモエそろばん様